

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ムラサキシジミ	シジミチョウ科	遊歩道で日向ぼっこする紫のシジミチョウ	◎	○	◎	宮城県以南



ハイム南遊歩道 11月上旬



ハイム南遊歩道 9月中旬 三齢幼虫とアリ



ハイム南遊歩道  
11月上旬

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年		越冬形態			
アラカシ、クヌギほか (ブナ科)						3~4		成虫			

ムラサキシジミはハイム内で卵から育って蝶になります。幼虫は生垣に使われているアラカシを食べますが丁度新芽が吹く頃に卵が孵化するという絶妙のタイミングです。硬い葉はとても生まれたての幼虫には歯が立ちません。

アラカシの新芽が伸びる9月頃あちこちに幼虫が見られその周りにはアリがいます。アリたちは幼虫の出す甘い分泌液のとりこになり、帰巢本能が麻痺してしまいひたすら分泌液をなめながら、幼虫のボディガードとしての役目を果たすというかなり不平等な関係に甘んじています。

秋の午前中には遊歩道のアラカシで紫の羽を開いてよく日向ぼっこしています。